







# NET CINEMA FESTIVAL GOLDENEgg



## ネットシネマフェスティバルとは

2016年『第1回ネットシネマフェスティバル』がスタートして  
今回で第5回を迎える事になりました。

当フェスティバルは、俳優たちの活躍の場を提供する目的で  
行われている『ゴールデンエッグ プロジェクト』において製作された  
短編映画(ネットシネマ)を上映し、業界で活躍する  
プロデューサー・映画監督・脚本家の投票において、  
俳優優秀賞を選び授賞式を行う俳優の為の祭典です。

このフェスティバルは、インターネット配信ツール  
NET CINEMA.TVと連携を取りネットワークの拡大を図っております。  
『NET CINEMA』はこれまで多くの才能が輩出されてきました。

このフェスティバルから活躍する俳優がこれからも輩出されますよう  
ご協力ご支援のほど何卒よろしくお願いいたします。

過去の作品は『ネットシネマゴールデンエッグ』の  
ホームページにて配信されております。

ネットシネマフェスティバル運営事務局





## 出展作品監督 (五十音順)



映画監督

### 富田 卓

1976年茨城県生まれ。1996年専門学校東京ビジュアルアーツ在学中より、「ウルトラマンティガ」特撮班見習として参加。翌年、同校卒業後、フリーランスの助監督として活動開始。2016年「ウルトラマンX」で本格的にテレビ監督デビュー。現在に至る。

【主な参加作品】2018年8月現在「監督」円谷プロ「ウルトラマンX」第10話・第11話、円谷プロ「ウルトラマンオーブ」第9話・第10話・第20話・第21話、円谷プロ「ウルトラマンジード」第9話・第10話・第20話・第21話「構成演出」映画「ウルトラマンサーガ」、TEAM-U from AKB48 メンバー個別7人予告、映画「ウルトラマンサーガ」、Making of TEAM-U from AKB48 (メイキング)、グラ☆スタ「階段少女 STEP UP GIRL」「演出」映画「三森迷子の逃亡」回想パート、映画「恋と嘘」政府通知パート  
その他、多数



映画監督

### 中西 健二

1986年東京大学文学部卒業後、助監督として映画制作に参加。重松清原作、阿部寛主演「青い鳥」(08)で初の劇場用映画作品として監督デビュー。藤沢周平の短編を映画化した北川景子主演「花のあと」(10)、「恋する歯車」(13)など監督。「探偵ミタライの事件簿 星籠の海」(16)脚本。「二度目の夏、二度と会えない君」(17)監督。



映像ディレクター

### 早川 恵介

テレビ東京「浅草橋ヤング洋品店」でAD、フジテレビ「奇跡体験アンビリバーボー」でディレクターデビュー。日本テレビ系列では、夕方や夜の報道番組の特集や、朝の情報番組「スッキリ」に携わるなど、バラエティー番組から報道番組まで、テレビ業界にて20年以上のキャリアを持つ映像ディレクター。2012年11月、自ら代表を務める、株式会社ムービーチャンプルを設立。テレビ番組、VP、DVD制作のほか、Web動画マーケティングを実践中。2016年「第1回ネットシネマフェスティバル」出展作品『ネ申-KAMI-』を監督し、“最優秀作品賞”を獲得。



# 『苺羽家の長い一日』

監督・脚本：富田卓



警報鳴り響く中、利里戸(りりど)市街を走り来る苺羽(かりば)広延、ふえり夫婦。昨晚、家族で揃うはずが、娘・玲美は帰って来なかった。夫婦は玲美を探すため、街を奔走していた。一方、玲美は昨晚、友人の墓切りと同時に失恋し、傷心。明るる日、目を覚ました玲美は驚く—— 周りの街の風景が小さくなっている、いや自分が巨大化しているのだ！ 困惑する玲美は駆けだす。これは夢か、受け入れがたい現実か……果たして、苺羽一家は無事、再会できるのか？



伊藤恵



片山早貴



加藤朱梨



木野ともみ



島崎義久



謝村梨帆



田中咲葉良



長尾一登



野邊遼太



松坂龍



水谷領佑



三和万亜子



山田竜椰



大和やち





# 『ヨミノイト』

監督・脚本：富田卓



客もまばらな、とある演芸場。漫談家のお後、高座に上がったのは、女性講談師・宝田紫倅(たからだしこう)。笑顔から一転、凛とした表情で釈台を叩くと—— かつて世を震撼させた「阿部定事件」の一席を読み始めます。「講釈師、見てきたような嘘をつき」。紫倅が、鬼気迫る表情で生々しく事件を講じる中、曰くありげに聞いている客たちは、皆ただならぬ様子。そして、物語は思わぬ方向に進んで参ります……さあ、物語はここからが奇想天外、波乱万丈と、面白くなるどころ!



赤田耕哉



麻里万里



池田諭



一永紗良



市村亮



葦月久子



伊藤由紀



折笠富美子



加島知枝



齋藤光



高田京介



藤枝澪



富優子



細谷雅幸



宗像愛子





# 『さよならも言えずに』

監督・脚本：中西健二



黒木紀夫は結婚を考えていた。高校の同窓会に出席するため、実家に戻った紀夫は家族にそのことを報告する。これまでそんな素振りも見せなかった紀夫の結婚話に喜ぶ家族。しかしどこか話に乗りきれない自分を感じる紀夫。実は紀夫は高校時代、同級生の沢野茜と付き合っていたが、茜は溺れた子供を助けようとして、子供は助けることができたが、自分が溺れてしまうという事故で亡くなっていた。どうしようもないことと分かっているながら、紀夫はずっと茜のことが心に引っかかっていた。



芦川まめ



あやめ紗季



石井凜凜子



大木あゆみ



太田靖則



兼松萌



齋藤龍平



桜井一



サトウヒロキ



城元悠歌



関口流輝



仲田美貴



中谷かつら



野中勇吾



三浦奈美



わたなべなつみ





# 『私、女優やめようかな』

監督・脚本：中西健二



売れない役者、宮村さやかは今日もさえない自主映画に出演中。そんなさやかが業界の異端児、高倉監督の次回作の主演として最終候補に残っているとの知らせが飛びこんでくる。今度こそは絶対このチャンスをつかんでやると意気込み、最終オーディションに臨むさやか。しかし結果は無情にも落選。落ちこむさやか。慰めようとした後輩とけんかし、バーで声をかけてきた見知らぬ客にまで八つ当たりし、遂には女優をやめようと思いつめたさやかがたどりついた先は……。



井筒しま



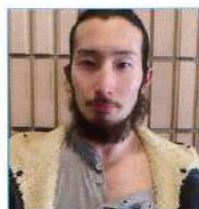
川勝さとみ



小結湊仁



齋藤龍平



榊滉太郎



鈴木啓太



鈴木政之



棚橋賢佑



辻本優美



ナオミ



吉田光



渡邊隆





# 『いる』

監督・脚本：早川恵介



山の中を逃走する宝石強盗グループが迷い込んだ「鬼斬り峠」。警察の包囲網から逃れるため地図に載っていない「不気味なトンネル」を通り抜けようとするのだが…。



今川慶祐



大谷隆二



大山大



上鶴れい



亀谷透



北祐貴



久野到



佐野優也



嶋田彦



鈴木大也



寺垣美伶



中村成志



春伎駿



日向美里





# 『黒ダイヤの香り』

脚本：金森匠 監督：早川恵介



レアメタルを凌ぐ新時代のエネルギー“黒いダイヤモンド”がとある田舎の農家で見つかった!? 噂を聞きつけた、テレビ、新聞、雑誌はもちろん、研究機関からユーチューバーまで大集結して大騒ぎに! 噂の真相を確かめるべく地主に詰め寄るのだが…。



石坂史朗



磯野弘明



岡田慶子



奥田明日香



小夏いっこ



国吉恵美



笹本ゆり



佐藤まんごろう



寒川雄矢



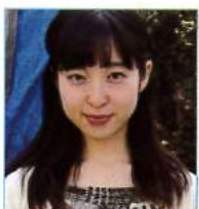
谷本ちひろ



田口尚子



長島真祐



中臺麻佑



林香奈



細井貴斗



森根三和





## 第1回ネットシネマフェスティバル受賞作品



「ネ申」  
監督：早川恵介  
最優秀作品賞  
女優賞2位：田中咲葉良



「その人知らず」  
監督：大高正大  
男優賞2位：松本渉



「死ぬほど好き♡」  
監督：小林暹  
女優賞1位：橘レイア



「おいしくいただきました。」  
監督：三輪江一  
男優賞1位：森本のぶ



「サンガンダ」  
監督：人見健太郎  
審査員特別賞  
荒井久美子

## 第2回ネットシネマフェスティバル受賞作品



「じゅ☆エリー」  
監督：土持幸三  
男優賞1位：市村亮



「あんた誰だよ」  
監督：土持幸三  
男優賞1位：市村亮  
男優賞2位：大谷隆二



「カマキリ」  
監督：土持幸三  
男優賞1位：市村亮  
男優賞2位：大谷隆二



「悔恨の刻」  
監督：早川恵介  
女優賞1位：木野ともみ  
女優賞2位：岩松れい子



「恐怖の別荘  
～そして、誰もいなくなった」  
監督：香月秀之  
男優賞2位：鈴木啓太



## 第3回ネットシネマフェスティバル受賞作品



「位置について」  
監督：飯野歩  
男優賞2位：榊澪太郎  
女優賞1位：花里紗知穂



「Day 7」  
監督：飯野歩  
男優賞1位：小結凌仁  
男優賞3位：島崎義久  
女優賞3位：笹本ゆり



「お花畑のまり子」  
監督：人見健太郎  
女優賞2位：寒川綾奈

## 第4回ネットシネマフェスティバル受賞作品



「セクハラ査問委員会」  
監督：早川恵介  
男優賞1位：鈴木啓太  
女優賞3位：ナオミ



「佐藤君のお願い」  
監督：向井宗敏  
男優賞2位：市村亮  
女優賞2位：木野ともみ



「サチュレーションZERO」  
監督：向井宗敏  
男優賞3位：山形匠



「パパ・ザ・キッド」  
監督：土持幸三  
女優賞1位：岩松れい子



「あなうめてっ!!」  
監督：早川恵介  
女優賞3位：金網りか



## 前回受賞者インタビュー



### 鈴木啓太

第4回優秀男優賞1位

第5回ネットシネマフェスティバルにご来場いただき、ありがとうございます。前回の第4回にて男優賞1位を受賞できたこと、大変光栄に思います。監督さん、スタッフさん、共演者の皆さんが力を合わせ一生懸命作った作品に送られた賞だと思っています。このプロジェクトは、半年間のワークショップを経て出演する作品が決まり、その作品でのポジションが決まります。どんな役でもその役割を理解し、役目を果たすことこそが役者なんだと言うことを教えていただきました。そして、その役のプラスアルファを出せるように、またこのネットシネマで学んでいきたいと思っています。



### 市村 亮

第4回優秀男優賞2位

向井監督は以前から出演してみたい!と思っている監督のお1人でしたので、その監督の作品に出演でき、しかも受賞もすることができて本当に嬉しかったです! ネットシネマフェスティバルに参加することは映画館のスクリーンで自分の出演した作品が観られることと、普通ならお会いできる機会さえ中々得られないビッグな審査員の方々に自分を観ていただけることが最大の魅力だと思います。黄金の鶏になれるよう、これからも続けていきます!!



### 山形 匠

第4回優秀男優賞3位

第3回の授賞式にお誘いいただき、刺激になりそうなフェスティバルだと思い第4回に参加しました。月4回のワークショップは所属している事務所のレッスンとは違った刺激を受け、また仕事にも繋がりました。サチュレーションZEROの撮影でも沢山勉強になる事や、完成した作品を観て「ここをこうしたらもっと良かったな」とか。俳優として少しは成長したと思います。今回はスケジュールの都合で参加していませんが次回は参加したいとは思っているので、参加するという方々はビクビクしといてください! 笑 ありがとうございます。





## 岩松れい子

第4回優秀女優賞1位

舞台が多かった為、活動の場を広げたくてネットシネマに参加しました。ワークショップと短編映画の撮影では、カメラを意識しての演技、台詞のこと、構成のこと、役者としての心構えや礼儀など、たくさんの方に気付かせて頂きました。私は、独りよがり、勝手な芝居にはしりがちなので、常にトレーニングをしているべきだと思っています。



## 木野ともみ

第4回優秀女優賞2位

素敵な作品に出させていただき光栄でした。生前葬という、世間でも最近話題になっているので、みる方にとっても身近に感じて改めて生前葬について考えるきっかけにもなるのではと思いました。ワークショップでは、指導していただく方によって、内容も求められることも変わってくるので、本当にたくさんの経験と学びを得ることができたので、とてもやりがいのある半年でした。



## 金網りか

第4回優秀女優賞3位

第一線で活躍している監督方や今まで自分と関わりの無い方々から、現時点の自分のお芝居がどう見えているかを知りたいと思った事が参加したきっかけでした。小劇場での活動が主で映像の経験が乏しい私には得るものが多く、今思えばとにかく吸収しようと必死だったと思います。ワークショップ自体、初めての参加でしたので様々な視点からの貴重なご意見を監督方から直接頂く事ができ、とても有意義な期間でした。



## ナオミ

第4回優秀女優賞3位

早川恵介監督作品「セクハラ査問委員会」にて、「セクハラを断じて許さない女教授・田島」を演じさせて頂きました。ナオミと申します。このような栄誉ある賞を頂戴できましたのも、ひとえに皆様のご支援とご指導の賜物と深く感謝しております。さらに皆様楽しんで頂けますよう、授かりました誉れに恥じる事のないよう、ますます素直に正直にまっすぐに精進して参る所存でございます。私に関わってくださるすべての皆様、本当に本当にありがとうございます!そして、田島教授という面白くも愛らしいキャラクターを授けてくださった早川監督には足を向けて眠れません!!これをきっかけに関わってみてもいいかなという皆様、まだ作品をご覧になっておられない皆様、「セクハラ査問委員会」絶賛無料配信中でございます(笑)これからも面白くて素敵なこと、どんどんやって参ります。今後とも末永くご指導ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。





ゴールデンエッグ プロジェクト  
エグゼクティブプロデューサー  
**大和田廣樹**

〈プロフィール〉

慶應義塾大学卒業後、(株)ニューメディア総研入社。メディア関連のコンサルティングをする。1996年(株)インターネット総合研究所(IRI)を藤原洋氏(現、(株)ブロードバンドタワー代表取締役社長)と立ち上げ、取締役就任。2002年、当時IRIの子会社だった(株)ブロードバンドタワーの代表取締役社長に就任。(現、(株)ブロードバンドタワーの取締役副会長)。IT業界をメインとした起業家だけではなく映画プロデューサーとしても活躍。台湾、中国、ハリウッド映画を製作する海外とのプロジェクトも同時に進行。

ネットシネマ「探偵事務所5シリーズ」映画「ぐるりのこと。」映画「GOEMON」日台合作映画「南風」第69回ロカルノ国際映画祭受賞映画「ディストラクション・ベイビーズ」最新作は、「私はヒーロー それともヴィラン? ~よみがえれ勝連城~」

【コメント】

ゴールデンエッグ プロジェクトを通して、  
新たな才能が開花していければ最高です。  
最優秀俳優賞を目指して良い作品が生まれるのを  
期待しています。頑張ってください！



ゴールデンエッグ プロジェクト  
企画統括プロデューサー  
**櫻井一葉**

〈プロフィール〉

1993年、映像企画制作会社として、(株)フレッシュハーツを設立。1999年、シブヤに生きる、荒削りな精神を持った若者達を題材にした映画「9-NINE」(香月秀之監督)が初プロデューサー作品。渋谷東映で3週間のレイトショー上映、連日劇場を満員にする。2003年、当時ブロードバンドタワー社長であった大和田廣樹氏と共に、ネットシネマの企画制作プロデューサーとして立ち上げより参画。その後、BS-TBS、WOWOW、BSジャパンなどBSデジタル放送やTBS、テレビ東京、テレビ朝日など地上波ドラマのプロデューサーを数多く手掛ける。

【コメント】

ネットシネマは、予算も限られている事もあり、多くの若手俳優に、  
出演のチャンスがあり、監督・脚本家は、力量が自ずと試され、  
これまで多くの才能が輩出されてきました。  
ゴールデンエッグ プロジェクトが、  
新たな才能の発見の場になる様努めてまいります。

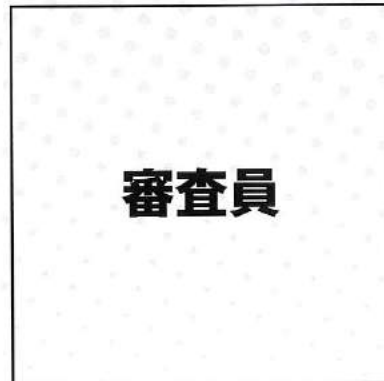


ゴールデンエッグ プロジェクト  
代表理事

**高橋信之**

〈プロフィール〉

早稲田大学第二文学部中退。漫画研究会出身の映画ライターとして「ロードショー」誌「TVガイド」誌などで活躍。取材を通じて得た交流から映像化原作権の交渉やオリジナル脚本の開発といったアソシエイト・プロデューサーとしても活躍。『セイラム2』(雨宮慶太監督)『古潤茶』(伊藤潤二監督・御茶漬海苔監督・古賀新一監督)現在、出版とデザインの会社スタジオ・ハードデラックス(株)代表取締役社長



**審査員**



株式会社AKATSUKI  
IPビジネス事業部 事業部長

**笠倉堅之**

〈代表作〉

「ヒカルの碁」中国版 ローカルプロデューサー  
「メタル侍」ハワイルイヴィトン国際映画祭作品 プロデューサー  
ウルトラマンティガ・ダイナ CGプロデューサー  
サイボーグ009アニメプロデューサー  
超能力少女アテナ(窪塚洋介初主演作品)プロデューサー  
火曜サスペンス劇場(警視庁鑑識班シリーズ6)プロデューサー



映画監督

**香月秀之**

東映京都撮影所・東映東京撮影所の助監督となり映画界へ。

1996年「不法滞在」で監督デビュー。  
1997年~2001年『借王 シャッキング シリーズ』  
1999年『9-NINE』  
2002年『組舞 KUMISO』(毎日映画コンクール ファン賞)  
2003年~2008年「デコトラの鷲 シリーズ」  
2007年「yoriko~寄り~」原作(モナコ国際映画祭ベストオリジナルストーリーアワード受賞)  
2010年「君が踊る、夏」(朝日放送60周年記念映画)  
2012年「明日に架ける愛」(第24回東京国際映画祭 特別上映作品)  
2013年「極道の妻たちNEO」  
2013年「テコンドー魂」  
2015年「クロスロード」プロデューサー(青年海外協力隊50周年記念作品)  
その他、テレビドラマの演出も多数手掛ける。





映画監督  
**佐々部 清**

明治大学文学部演劇科、横浜放送映画専門学院(現・日本映画大学)を経て、1983年よりフリーランスの助監督。  
2002「陽はまた昇る」でデビュー。日本アカデミー賞優秀作品賞、日刊スポーツ石原裕次郎賞  
2003「チルソクの夏」日本映画監督協会新人賞、新藤兼人賞  
2004「半落ち」日本アカデミー賞最優秀作品賞、優秀監督賞、優秀脚本賞  
2005「カーテンコール」日本映画批評家大賞作品賞  
2007「夕風の街 桜の国」日本映画批評家大賞作品賞  
2011「ツレがうつになりまして。」中国金鶏百花映画祭最優秀作品賞  
2014「東京難民」  
2017「八重子のハミング」  
2018「この道」



映画監督  
**篠原哲雄**

〈プロフィール〉  
明治大学在学中に現場を経験。以降、助監督として森田芳光監督らの作品を務める傍ら、自身の制作活動を続け、1989年の『RUNNING HIGH』でPFFワード特別賞を受賞。続く『草の上の仕事』(93)は神戸国際インディペンデント映画祭でグランプリを受賞。初の劇場用長編映画『月とキャベツ』(96)を皮切りに『はつ恋』(00)、『深呼吸の必要』(04)、『地下鉄(メトロ)に乗って』(06)、『山桜』(08)、『真夏のオリオン』(09)、『小川の辺』(11)、『起終点駅ターミナル』(15)、『花戦さ』(17)、『プリンシパル〜恋する私はヒロインですか?〜』(18)、などの作品がある。最新作は2019年公開予定、横山秀夫原作・山崎まさよし主演『影踏み』。『花戦さ』が第41回日本アカデミー賞 優秀作品賞ならびに優秀監督賞を受賞。



シネマプランナーズ代表  
**寺井隆敏**

〈プロフィール〉  
映画製作者と俳優・役者の架け橋として最も有名なWEBサービス「シネマプランナーズ」の運営代表。2018年には「日本映画インフラストラクチャ協会」を設立。映画のための民間の助成団体を目指す。常に20年先を考え、映画の未来のための基盤作りを活動の中心に、映画文化の発展と海外への展開を支援する。



脚本家  
**久松真一**

〈プロフィール〉  
1987年より二年間、富良野塾にて脚本家・倉本聰に師事。NHKドラマ「玄海〜わたしの海へ」(03) 放送文化基金賞 テレビドラマ部門本賞受賞。WOWWOWドラマ「再生巨流」(11) ATP賞テレビグランプリ ドラマ部門優秀賞受賞。2016年映画『64-ロクヨン 前編後編』を執筆、観客動員270万人を超える大ヒットを記録。同作前編にて日本アカデミー賞優秀作品賞・優秀脚本賞を受賞。日大芸術学部講師



ユーロスペース支配人  
**北條誠人**

〈プロフィール〉  
法政大学経済学部経済科卒業。大学在学中から映画の自主上演に携わる。同年ユーロスペースの前身の欧日協会に入社。89年よりユーロスペースの劇場支配人と配給作品の地方営業を担当する。ミニシアターの創成期から、90年代半ばの最盛期、若い観客のミニシアター離れに至るまでの30年間を見つめてきた。

**NET CINEMA**

〈主な代表作〉



**私はヒーロー それともヴィラン?  
～よみがえれ勝連城～**

企画製作：株式会社IoTスクエア  
プロデューサー：大和田廣樹  
監督／脚本：杉山嘉一  
出演：福田沙紀、金子昇、藤木勇人、城間やよい



無料アプリ「NETCINEMA」  
で検索



場所:渋谷・ユーロライブ  
日時:2019年4月21日(日)



NET CINEMA  
FESTIVAL  
GOLDENEgg

エグゼクティブプロデューサー:大和田廣樹 企画統括プロデューサー:櫻井一葉

プロデューサー:菅沼公明、平湯耕路、アロー・ジュリアン

アソシエイトプロデューサー:白木道人、安久慎一、寺井隆敏、宮川豊 デザイナー:野田義貴

企画・運営統括:ネットシネマ・フェスティバル運営事務局

(IoTスクエア/スタジオ・ハードデラックス/フレッシュハーツ/シネマプランナーズ/クループレイス) 代表理事:高橋信之

<http://www.golden-egg.jp/>

ネットシネマ・ゴールデンエッグ



Twitterアカウント:@golden\_egg\_pjt



golden\_egg\_project